

『SOSネットワーク』について



認知症・認知症の疑いがあり、2024年に全国の警察に届出のあった行方不明は、1万8,121人。そのうち、亡くなった状態で見つかった方も491人で、行方不明になった場所から50kmを越えて見つかった方もいたんだ。

※警察庁生活安全局人身安全・少年課 令和6年における行方不明者届受理等の状況 より引用

記憶力・判断力が低下し、道を間違えたり、現在の時間、場所、状況がわからなくなりして、家に帰れなくなることがあるんだったよね。
家を出る時は何か目的があったけど、その記憶が歩いている間に、自転車に乗っている間に忘れてしまい、思い出せなくなったり、東西南北や左右、奥行の感覚が損なわれて道に迷うことがあるんだったね。



今は、位置情報がわかるGPS機器やGPS機能付携帯電話（スマートフォン）、紛失防止タグ等があるから、本人と相談して常に持ち歩くようにできれば良いよね。実際、位置情報がわかる機器などで早期発見・保護につながったケースは多くあるんだよ。

介護していた方からは、近所の方、よく行くお店などにも事情を伝えておいて、もし一人で歩いているのを見かけたら、連絡してもらうように頼んでおいたと言っていたよ。

「近所の方が気にかけてくれていて、向かった先を教えてくれたり、声かけてくれた」「散歩していたらばったり会ったからと、自宅まで送ってくれた」といった話もきいたよ。



地域によって「SOSネットワーク」もあるんだよ。旭川では「旭川地域SOSやまびこネットワーク」があって、警察が家族等から行方不明になった方の捜索願を受理し、ネットワーク利用の同意を得て、市町村、消防署、バス会社、ハイヤー会社等の機関に連絡して、早期に発見・保護し、その後も安心して生活することを支えるシステムなんだ。

また、永山圏域には「永山第二地区SOSネットワーク」「永山第三地区SOSネットワーク」があるんだ。

いざという時のために、地域の社会資源を知っておくということも大切な備えの1つだよ。

ちょっと一息。脳トレ



早口言葉にチャレンジ!!

- ① 生麦生米生卵
- ② 生ナマズ 生ナマコ 生なめこ
- ③ うらの竹垣に 竹たてかけたのは、竹たてかけたかったから 竹たてかけた
- ④ 蛙びよこびよこ 3びよこびよこ 合わせてびよこびよこ 6びよこびよこ

家族の備え～身近な人に事情を前もって伝えておくことが大切～

○よく持って出かける物を覚えておく

杖やシルバーカー、カバン、帽子など外出時によく持って行く物、好んで履く靴などを覚えておきましょう。

○名前や連絡先を衣類や持ち物に書いておく

あまり外から目立たないような部位（例えばポケットの内側）に名前や連絡先を書いておく。財布やカバンなどに連絡先などを記載した紙やヘルプカードをいれておくのも良いかもしれません。

○本人とわかる写真を用意しておく

顔写真や普段の姿など、最近の写真を用意し、近所の方などに見守りや声かけをお願いしておくとういでしょう。

○便利な機器を利用する

外出を感知したり、電波を利用して居場所を特定しやすくなる機器（GPS、紛失防止タグ等）やスマホの活用等があります。

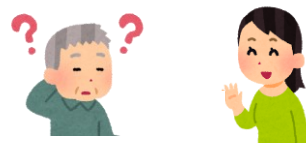
地域の皆さまへ

もし、気になる方を見かけたら、勇気をもって声をかけましょう。道に迷っている方だった場合、最寄りの交番等へ案内をするか、警察へ連絡をしてください。

○驚かせないように前から声をかける。

「こんにちは。」
「何かお困りですか？」

○挨拶をし、ゆっくりとした話し方で。 早口にならないように。



○自分から自己紹介をすると、相手も安心。

○無理やりではなく、説得しながら安全な場所へ案内

「今日は暑いので、
涼しいところで休みませんか」

